

原子力規制委員会記者会見録

- 日時：令和2年8月19日（水）
- 場所：原子力規制委員会庁舎 13階 B・C・D会議室
- 対応：田中委員長代理 他

<質疑応答>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから8月19日の原子力規制委員会定例会見を始めます。本日は委員長代理の田中が対応させていただきます。また、本日より当会見の進行役を務めます、広報室長の村田でございます。よろしくお願いいたします。それでは皆様からの質問をお受けいたします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

○記者 朝日新聞のコツボと申します。よろしくお願いいたします。

今日の委員会とかとは直接関係ないのですが、先週北海道の寿都町で、高レベル放射性廃棄物の最終処分場に関する文献調査、応募の意向を示されるというニュースがありました。決定に関しては、エネ庁とか NUMO の案件だと思うのですが、こういった施設ができることというのが、規制上あるいは放射性物質の安全管理上どういう意義を持つのかとかですね、その辺りちょっと受け止めをお聞かせいただけないでしょうか。

○田中委員長代理 御存じのとおり、今回は文献調査を申し出たいというふうな町の考えだと思うのですが、これをどういうふうに見ていくかどうか等々というのは経済産業省の管轄でございますので、原子力規制委員会としては関係ないところでございます。

御存じのとおり、平成27年でしたか、閣議決定というのがあって、その中に規制委員会は云々という文書がありますけれども、そこを見ていただければ、規制委員会が何をするのか、何をしないのかというのがそこに明快に書かれているかと思えます。

○記者 ありがとうございます。もう1点それに関しまして、こういった施設の、今まで日本ではできたこともないようなものですが、例えば安全性を審査するとかといった場合にはどういったことがポイントになるとか、何か、先生は昔からこのテーマに関してはいろいろと発信をされておられたと思うのですが、その辺り何かお考えあったらお聞かせいただけないでしょうか。

○田中委員長代理 規制委員会委員としては、余り発言することはないかと思えますが、昔から、いろんな学会等と、あるいは専門家等々でこれに対して、もちろん当事者であります NUMO なんかも、どういうふうなところに留意しながらこれをつくっていくのか等々について説明しているところでございます。その辺を見ていただければと思えます。

○記者 ありがとうございました。

○司会 そのほか御質問いかがでしょうか。

それでは、ミヤジマさん。

○記者 FACTA のミヤジマです。

8月7日付で東京電力が社外の作業員についてはPCR検査の受検というのをこれから始めると、あるいは2週間隔離ということですが、いわゆる規制委員会のほうも2週間の、基本的にあれしてから検査官が入るようなルールだと思いますが、今後いろんな形で、やはり原発施設に入る場合の、規制庁の人を含めてPCR検査というのを義務づけていくようなお考えがあるのか、あるいは今現在、関電、東電がそういうふうにやっていますけど、いろんなそれ以外にも原発施設があるわけですが、そういうPCR検査ということについて、何か統一的にこういうふうにすべきというようなお考えがあるのかどうか。

どこまでやるのかというのはよく分からないのですが、どこでクラスターが発生するかということもよく分からないのですが、基本的に作業員のところの宿舎とか何かが中心だと思うのですが、その辺についてお考えがあれば伺いたいです。

○田中委員長代理 緊急事態宣言が出たときには、2週間そこに、何か離れてから行けとか等々あるのですが、最近の状況を踏まえてどういうふうにするかというのは、事務のほうから説明していったほうがいいかと思います。

○児嶋総務課長 総務課長の児嶋です。

まずPCR検査を義務づける考えは今のところはございません。事業者のほうからここまで要望はされておきませんが、ただ他方、もちろん我々が感染させてはいけませんので、まず平素から、このようなマスクも含めて、感染しないような最大限の対策を取っております。

それ以外にも2週間、例えばチーム検査のように、本庁から地方に行くに当たっては、2週間前からどういう行動をしているかという履歴をちゃんと教えるようにして、我々自身が迷惑をかけないように最大限注意しております。

いずれにしても、事業者とまた地方の自治体とか、その動きを見ながら感染しないように我々のほうも最大限気を遣っているところです。

○記者 要するに、東電なんかは、中に入ってもらうところは、自分のところのお金で作業員についてはPCR検査をしてもらうというようなシステム出すわけですね。そのこと自体はどういうふうに評価しますか。

○児嶋総務課長 総務課長の児嶋です。

事業者の皆様が、その運転をしっかりと継続するために、それぞれの形でPCR検査を義務づけたりすることは、非常によいことだと思っております。

○記者 それはだけど、要するに東電や関電以外のところには、そういうのは求めるようなことはなくて、それぞれの電力会社の、当然原発施設だけそれをやることの意味が私には実はよく分かんないところがあるのですが、それは評価するけど、別にそれを

やるべきだという判断ではないということですね。

○児嶋総務課長 総務課長の児嶋です。

やっぱり、コロナ関係も含めまして、感染状況はそれぞれ違いますので、そこは事業者の判断に任せるのが適当だと思います。

○司会 よろしいでしょうか。そのほか御質問いかがでしょうか。

ほか御質問ありませんか。

では、よろしければ、それでは本日の会見は以上としたいと思います。

ありがとうございました。

—了—